

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：5月レポート

稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 主席研究員）
野村亮輔（研究推進部）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail:nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●5月都道府県別訪日外客数と訪問率の早期推計*

▶5月の関西2府8県別に訪日外客数(推計値)をみると

(表1及び図1)、福井県2人、三重県13人、滋賀県12人、京都府518人、大阪府696人、兵庫県105人、奈良県250人、和歌山県21人、鳥取県8人、徳島県4人となった。伸び率は福井県で前年同月比-100.0%、福井県以外の府県はいずれも同-99.9%となった。前月から引き続きインバウンド需要はほぼ蒸発している状況である。

▶運輸局別では(表1)、北海道138人、関東881人、中部204人、近畿738人、九州170人となった。

▶5月の訪問率(推計値)を関西2府8県別にみると(表2及び図6)、

福井県0.2%、三重県0.7%、滋賀県0.7%、京都府30.5%、大阪府41.0%、兵庫県6.2%、奈良県14.7%、和歌山県1.2%、鳥取県0.5%、徳島県0.2%となった。前月から訪問率が上昇したのは京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、一方低下したのは三重県、滋賀県、兵庫県、徳島県であった。なお、福井県、鳥取県は横ばい。

●5月発表データのレビュー

▶JNTO 訪日外客数推計値(表3及び図7)によれば、5月総数は1,700人(前年同月比-99.9%)となり、8カ月連続のマイナス。前月過去最低であった値を更に更新した。世界各国で海外への渡航制限が続いており、日本でも外国人の入国制限が続いていることが影響した。

▶国・地域別をトップ5で見れば、米国が50人(前年同月比-100.0%)、中国が30人(同-100.0%)、インドが30人(同-99.8%)、韓国20人(同-100.0%)、フランスが20人(同-99.9%)と、訪日外客はほぼ消失している状況である。

▶東アジアの伸び率をみると中国、台湾、香港は4カ月連続、韓国は11カ月連続のマイナス。COVID-19の感染拡大による影響は5月も非常に厳しい状態となった。なお、日本政府は夏以降、ビジネス目的の訪日外客から緩和策を検討している。対象国はタイ、ベトナム、オーストラリア、ニュージーランドの4か国で、PCR検査の陰性証明書と行動計画書を提出し審査が通れば、入国時の長時間待機が免除されるため、訪日外客の増加が幾分期待されるだろう。

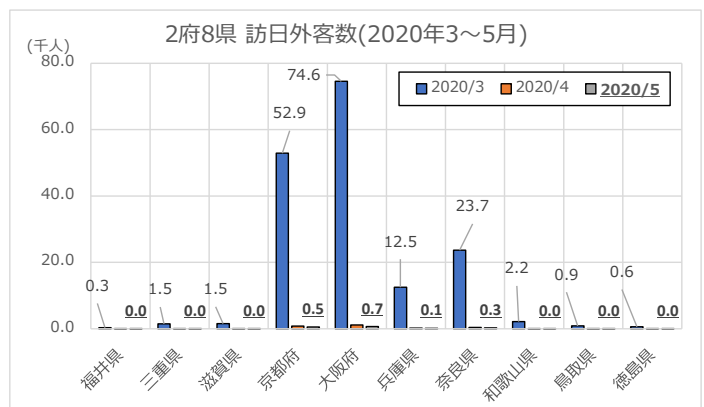
表1 都道府県別訪日外客数の早期推計表

■府県ベース	訪日外客数			単位:人	
	2020/3	2020/4	2020/5	19Q4	20Q1
福井県	302	4	2	14,928	7,099
三重県	1,514	22	13	59,714	31,511
滋賀県	1,541	22	12	59,714	32,172
京都府	52,933	830	518	2,142,234	1,097,698
大阪府	74,596	1,144	696	2,911,049	1,512,722
兵庫県	12,528	183	105	455,318	253,815
奈良県	23,676	388	250	903,172	457,446
和歌山県	2,188	33	21	104,499	53,381
鳥取県	874	13	8	29,857	16,643
徳島県	577	7	4	29,857	15,511

■運輸局ベース	訪日外客数			単位:人	
	2020/3	2020/4	2020/5	19Q4	20Q1
北海道	17,235	267	138	500,103	282,650
関東	102,733	1,520	881	4,015,755	2,113,271
中部	23,937	352	204	1,030,064	510,934
近畿	79,870	1,216	738	3,157,369	1,643,810
九州	19,439	295	170	671,781	375,325

注:全目的(観光・レジャー目的以外も含む)の訪問率をもとに訪日外客数を推計している。なお、地方単位(運輸局ベース)で推計される訪問率と訪問者数は、地方内の複数訪問を1回とカウントしているため、都道府県の訪問者数を単純に合算した値とは異なることに注意。シャドウは実績値。

図1 都道府県別訪日外客数の3カ月比較図



注:数値は最新月の予測値。

* 早期推計は以下の手順で行われている。まず、四半期ベースの都道府県訪問率を月次化し、それを用いて時系列モデルを推計、その6カ月予測を行う。これに訪日外客数(JNTO)を乗じて、月次ベースの訪日外客数を推計している。訪問率の実績値が発表されるまでは、このルーティンが繰り返される。本手法は当研究所の日本経済月次予測で用いている超短期予測のアイデアを応用しており、詳細な推計方法については Trend Watch No.54(2019年5月)参照のこと。

トピックス

●5月関西国際空港：訪日外客数の動向

▶5月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は、181人で過去最低値となった。伸びは前年同月比-100.0%減少し、入国者はほとんどいない状況となった(図2及び図5)。COVID-19の感染拡大を受けて外国人上陸拒否の措置が続いていることが影響している。なお、法務省は外国人の上陸拒否対象地域を5月16日に87カ国地域から100カ国地域に拡大し、27日には111カ国地域に拡大している。

●経済ショックからの回復の比較

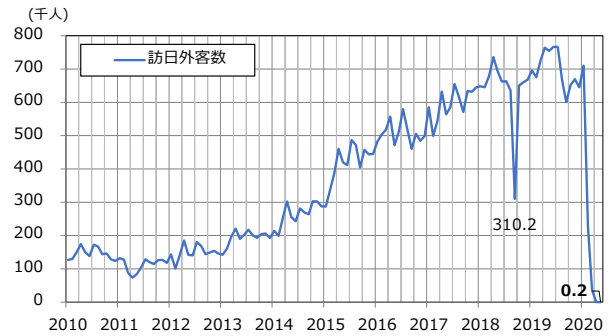
▶関西5月の貿易動向を見ると、COVID-19感染拡大による世界経済減速の影響が輸出入ともにみられた(図3)。輸出額は前年同月比-16.9%減少し、3カ月連続のマイナス(前月:同-5.4%)。輸入額は同-19.7%減少し8カ月連続のマイナス(前月:同-2.2%)。対欧米輸出入の大幅減少が影響した。結果、関西の貿易収支は281億円と4カ月連続の黒字となったが、貿易総額(輸出入合計)は前年比-18.3%減少し(前月:同-3.8%)、昨年9月を除けば17カ月連続で縮小している。

▶地域別の貿易動向をみると(図4)、関西5月の対中輸出額は前年同月比-0.1%小幅減少し2カ月ぶりのマイナス。対中輸入額は同+2.1%増加し2カ月連続のプラスとなった。輸入増に寄与した品目は織物用糸及び繊維製品、事務用機器であった。

▶5月の関空への訪日外客数は前年同月比-100.0%大幅減少し、4カ月連続のマイナス。2019年の関西での外国人消費額は1兆615億円と推計(APIR)されることから、5月のインバウンド需要の損失額は884億円(=10,615/12×関空への訪日外客数の減少率)と推計される。結果、2-5月期インバウンド需要の損失合計は3,194億円となる。なお、6月の減少幅が5月と同程度と仮定すると、2-6月期の損失合計は4,078億円に増加する。

▶図5は関空訪日外客入国者数の動態をリーマンショック期、東日本大震災期と今回の3つの時期で比較したものである。5月の落ち込みは過去に例を見ないほどのものであった。政府は現在、出入国の緩和策についてまずビジネス客から検討している。2019年の訪日外客に占める観光客の割合は88.6%、商用客は5.5%、その他客は5.9%である。仮に、商用客の入国が全面緩和されたとしても、95%程度の減少が続き、当面大幅な回復は期待しづらい。

図2 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。

2020年5月値は速報値(図5も同様)。

図3 関西 対世界貿易の推移

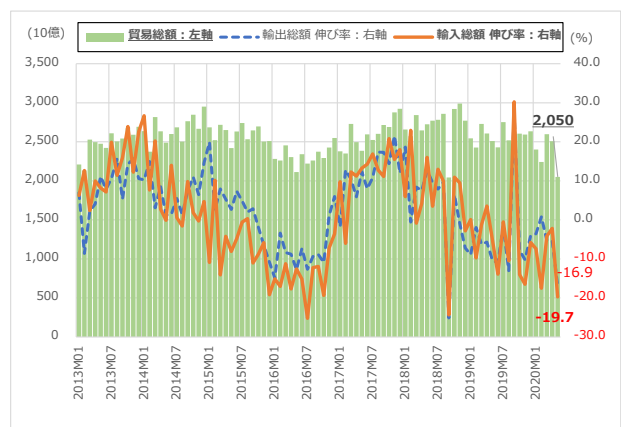
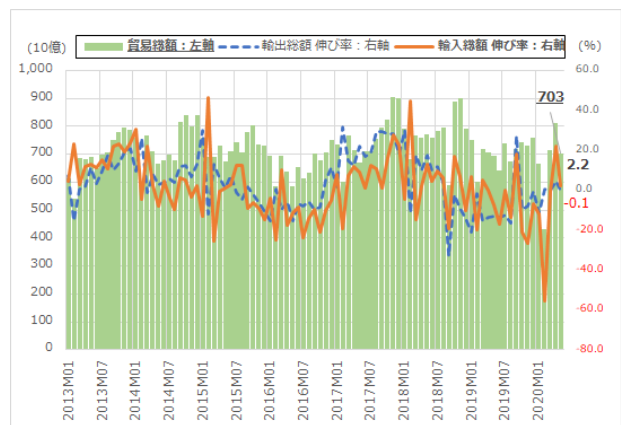


図4 関西 対中貿易の推移



出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図5 経済ショックからの回復の比較

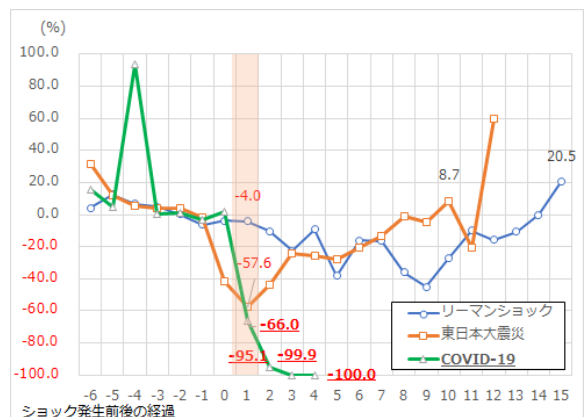


表2 月次訪問率の早期推計表

訪問率	単位:%				
■府県ベース	2020/3	2020/4	2020/5	19Q4	20Q1
福井県	0.16	0.15	0.15	0.20	0.16
三重県	0.78	0.76	0.74	0.80	0.78
滋賀県	0.80	0.76	0.71	0.80	0.80
京都府	27.33	28.61	30.46	28.70	27.33
大阪府	38.51	39.44	40.95	39.00	38.51
兵庫県	6.47	6.32	6.17	6.10	6.47
奈良県	12.22	13.39	14.72	12.10	12.22
和歌山県	1.13	1.13	1.22	1.40	1.13
鳥取県	0.45	0.46	0.46	0.40	0.45
徳島県	0.30	0.25	0.22	0.40	0.30
■運輸局ベース	2020/3	2020/4	2020/5	19Q4	20Q1
北海道	8.90	9.20	8.15	6.70	8.90
関東	53.04	52.43	51.84	53.80	53.04
中部	12.36	12.12	12.02	13.80	12.36
近畿	41.24	41.92	43.40	42.30	41.24
九州	10.04	10.16	10.02	9.00	10.04

注: シャドウは実績値

図6 月次訪問率の推移

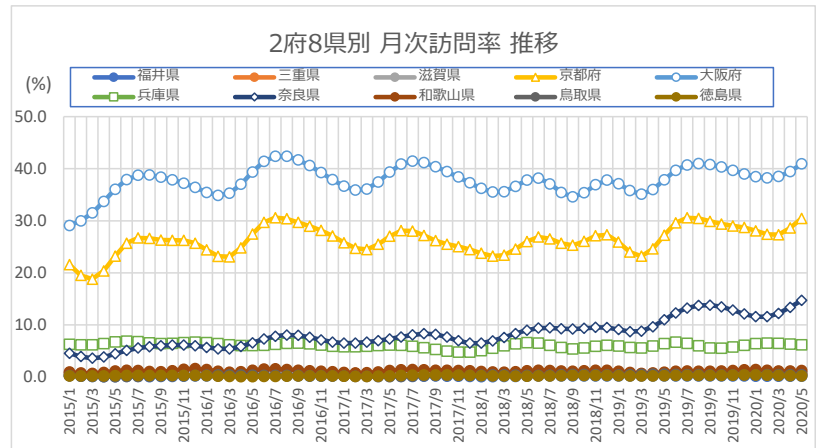


表3 2020年5月 訪日外客数 (JNTO 推計値)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年 5月	2020年 5月	伸率(%)	2019年 1-5月	2020年 1-5月	伸率(%)
総数	2,773,091	1,700	-99.9	13,753,573	3,944,400	-71.3
総数(韓国・その他除く)	2,069,728	130	-100.0	9,992,942	3,293,520	-67.0
韓国	603,394	20	-100.0	3,250,791	477,700	-85.3
中国	756,365	30	-100.0	3,651,814	1,022,610	-72.0
台湾	426,537	10人未満	-100.0	2,019,764	689,670	-65.9
香港	189,007	10人未満	-100.0	888,859	344,900	-61.2
タイ	107,857	10人未満	-100.0	620,611	215,340	-65.3
シンガポール	37,650	10人未満	-100.0	166,819	54,780	-67.2
マレーシア	42,629	10人未満	-100.0	207,395	74,730	-64.0
インドネシア	30,107	10人未満	-100.0	166,583	69,710	-58.2
フィリピン	59,578	10人未満	-100.0	248,278	104,310	-58.0
ベトナム	39,900	10人未満	-100.0	217,828	111,370	-48.9
インド	19,914	30	-99.8	77,581	22,470	-71.0
豪州	46,223	10人未満	-100.0	289,623	142,650	-50.7
米国	156,962	50	-100.0	699,633	214,030	-69.4
カナダ	35,335	10人未満	-100.0	158,367	52,740	-66.7
メキシコ	5,482	10人未満	-100.0	25,948	9,360	-63.9
英国	31,642	10人未満	-100.0	159,897	49,780	-68.9
フランス	30,863	20	-99.9	138,993	41,300	-70.3
ドイツ	21,552	10人未満	-100.0	102,782	28,610	-72.2
イタリア	12,463	10人未満	-100.0	63,411	13,140	-79.3
ロシア	9,691	10人未満	-99.9	47,096	20,770	-55.9
スペイン	9,971	10人未満	-100.0	41,660	11,250	-73.0
中東地域	5,679	10人未満	-100.0	38,323	7,050	-81.6
その他	94,290	1,480	-98.4	471,517	166,130	-64.8

図7 訪日外客数 推移



出所: 日本政府観光局(JNTO)、2020年6月17日付より筆者加工